1. 掲示物について

掲示は、校舎内の所定の掲示板と貸出しパネルを利用してください。

校舎内の壁にセロテープやガムテープ等を使用して掲示物を貼ると剥がす時に塗料がはげたり、跡が残ってしまいます。 絶対にしないでください。 ⇒責任者だけでなく、担当者レベルまで必ず伝達をしてください。

窓ガラスについては、メンディングテープを使用し、テープの跡が残らないようにしてください。

2. 教室等の使用について

模擬店、展示出店サークルおよび野外ステージ出演者の教室等の使用については、事前に「施設使用願」を各担当の実行委員に提出し、委員長が取りまとめて一覧と一緒に2週間前までに学生サービスセンターに提出してください。

模擬店、展示出店サークルおよび野外ステージ出演者の「施設使用願」、「器具使用願」

- (I)「施設使用願」を事前に提出してください(申請のない教室等は防犯上の理由により、前日からすべて施錠します)。 《聖灯祭用書式》
 - · | 枚目…施設使用願(聖灯祭用)
 - ・2 枚目…聖灯祭で使用する場所一覧

実行委員会で使用希望場所を調整し、一覧表にしてください。

学生サービスセンターで全体の調整後、使用許可が出されます。

- <一覧表に入れる項目>
- ①部屋番号
- ②部屋名称
- ③使用開始日・時間~片付け終了日・時間
- 4使用団体名
- ⑤使用責任者(学籍番号、氏名、緊急連絡先電話番号)
- ⑥施錠希望の有無
- ⑦備考(その部屋にある設備の使用希望等)
- ※使用しない椅子や机を入れておく部屋は原則ありません。レイアウトを工夫して対応してください。

(2)使用上の注意

<mark>聖灯祭当日の校舎利用時間 7:30-18:00</mark> (第1体育館のみ〜21:00)

18:00 以降(後夜祭終了後も)は校舎に入れませんので注意してください。

※前日は通常通り 21:00 に校舎は施錠されます。

全般	・校舎・施設及び設備は汚損・破損等をしないよう大切に扱ってください。
	・破損等は速やかに必ず学生サービスセンターに報告してください。
	・校舎は原状復帰後施錠します。後夜祭に行く際など教室等に荷物は置いていけませんので注意してくだ
	さい。
教室	・原状復帰が原則です。移動前に机・椅子の並び方(列数と数)のチェック表を作成しておき、返却する際
	に確認してください。
	・机や椅子を移動する場合は、机や椅子、床を傷つけないよう大事に扱ってください。
	・教室内で使用しない机や椅子の保管場所は原則ありません。レイアウトを工夫してください。
	・電気製品を使用する場合は、遅くとも開催日の前々日までに学生サービスセンターに相談してください。
机・椅子	・机や床の上でペンキやマジックを使用する場合は、必ずブルーシートや新聞紙を敷いて行ってください。
	準備する学生全員に徹底するよう伝えてください。
	・模擬店でガスコンロや高温になる器具を使用する場合はテーブルを焦がさないようにする必要があるた
	め、学友会所有の板をテーブルの上に置き、その上に不燃材(鉄板等)を敷いて直接器具がテーブルに
	あたらないようにしてください。机も古いものを使用してください。
	・特に模擬店は、火を使わない場合でも、机にキズや汚れをつけないよう、新聞紙やダンボールを敷いて
	ください。
	・3 号館演習室の机は模擬店には使用しないでください。
第丨体育館	・準備開始 前日 13:30 片付け 当日後夜祭終了~退館 20:30
	時間を変更する場合は遅くとも開催日前々日までに学生サービスセンターに相談して決めてください
	(職員が立会います)。なお、第 体育館の体育教員室は使用できません。音響(マイク)を使用する必
	要がある場合は、遅くとも開催日前々日までに必ず学生サービスセンターに相談をしてください。

ル(団体)等を決め、片付けまで責任を持って行うようにしてください。 例年、排水溝や三角コーナーに細かいクズが残っています。注意してください。 ・食中毒防止のため、料理には十分火を通すよう指示してください。 ・使用方法については、教員と直接相談してください。 ・ステージ前の芝生については入ることができますが、それ以外の芝生について、極力立ち入りをしないよう注意してください。都合上必要な場合は、学生サービスセンターに相談してください。 ・プント設営・	調理実習室	・棚に入っている食器類は使用できません。調理台にある鍋等は使用できます。テーブル毎に使用サーク
関係、排水溝や三角コーナーに細かいクズが残っています。注意してください。 ・食中毒防止のため、料理には十分火を通すよう指示してください。 ・食中方法については、教員と直接相談してください。 ・ステージ前の芝生については入ることができますが、それ以外の芝生について、極力立ち入りをしないよう注意してください。都合上必要な場合は、学生サービスセンターに相談してください。 デント設営・撤収 ① ② ③ ④ ⑤ ・本 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	阿丕人日王	
*食中毒防止のため、料理には十分火を通すよう指示してください。 ・使用方法については、教見と直接相談してください。 ・ステージ前の芝生については入ることができますが、それ以外の芝生について、極力立ち入りをしないよう注意してください。都合上必要な場合は、学生サービスセンターに相談してください。 テント設営・撤収 ・食 イ 本/長 3 本 ・会 本 ・会 中柱 ×2 本 ・会 角柱 ×4 本 ・会 角柱 大き は の 一会 自然 を と の 一会 自然 を で と の 一会 自然 を で と の 一会 自然 を で と を で と ら た ら た ら た ら た ら た ら た ら た ら た ら た ら		
# 実習室 ・使用方法については、教員と直接相談してください。		
中庭 ・ステージ前の芝生については入ることができますが、それ以外の芝生について、極力立ち入りをしないよう注意してください。都合上必要な場合は、学生サービスセンターに相談してください。 デント設営・機収 ・ 本 ・ 本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	生翌安	
よう注意してください。都合上必要な場合は、学生サービスセンターに相談してください。 テント設営・		
 (1) ② ③ ④ ⑤ (1) ② ③ ④ ⑤ (2) ⑥ ④ ⑥ (3) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	TÆ	
	テント設営・	
②析 × 短 4 本/長 3 本 ③合掌 ×6 本 ④中柱 ×2 本 ⑤角柱 ×4 本 ※必ず軍手を着用してください!(テント設営・撤収の際、毎年負傷者が出ています) ※作業にあたっては、周りに声掛けをして安全を確認してください(無理だと思ったら応援を呼んでください)。 ・テント本体は予想以上に重量があります。できるだけ男子学生主体で協力しながら行うようお願いします。 ・テントの骨組を持ち上げる・下ろす際は④⑤の柱、計6か所全でに人が2名ずつ配置されていることを確認してから行ってください。また、その際は④・⑤の柱を持ってください。(②桁や③合掌を持つと柱から抜けるおそれがあります) ・柱と桁を繋ぐ外れ止め・各柱の折曲げ部(上図参照)に指をはさまないよう注意してください。 ・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 がスコンロ ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげで使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ	撤収	00000
②析 × 短 4 本/長 3 本 ③合掌 ×6 本 ④中柱 ×2 本 ⑤角柱 ×4 本 ※必ず軍手を着用してください!(テント設営・撤収の際、毎年負傷者が出ています) ※作業にあたっては、周りに声掛けをして安全を確認してください(無理だと思ったら応援を呼んでください)。 ・テント本体は予想以上に重量があります。できるだけ男子学生主体で協力しながら行うようお願いします。 ・テントの骨組を持ち上げる・下ろす際は④⑤の柱、計6か所全でに人が2名ずつ配置されていることを確認してから行ってください。また、その際は④・⑤の柱を持ってください。(②桁や③合掌を持つと柱から抜けるおそれがあります) ・柱と桁を繋ぐ外れ止め・各柱の折曲げ部(上図参照)に指をはさまないよう注意してください。 ・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 がスコンロ ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげで使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ		
②行 × 短 4 本/長 3 本 ③合掌 ×6 本 ④中柱 ×2 本 ⑤角柱 ×4 本 ⑥角柱 ×4 本 ⑥の性 ×4 本 ⑥の性 ×2 本 ⑥角柱 ×4 本 ⑥の性 ×2 本 ⑥の性 ×4 本 ⑥の性 ×2 本 ⑥の性 ×2 本 ⑥の性 ×4 本 ⑥の性 ×2 本 ⑥の性 ×4 本 ⑥の性 ×2 本 ⑥の性 ×4 本 ⑥の性 ×2 本 ⑥の性 ×2 本 ⑥の性 ×2 本 ⑥の性 ×2 本 ⑥の性 ×3 か の際にの ※ 毎年負傷者が出ています) ⑥・デント本体は予想以上に重量があります。できるだけ男子学生主体で協力しながら行うようお願いします。 ⑥・デントの骨組を持ち上げる・下ろす際は⑥の柱、計6か所全でに人が2名ずつ配置されていることを確認してから行ってください。また、その際は⑥・⑥の柱を持ってください。(②桁や③合掌を持つと柱から抜けるおそれがあります) ⑥を持ちにしているのは、計6を所全でに人が2名ずつ配置されていることを確認してから行ってください。もた、その際は⑥・⑤の柱を持ってください。(②桁や③合掌を持つと柱がら抜けるおそれがあります) ○ 校はのできるようにしかり管理してください。 『横接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 『対スコンロ ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード 『過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげで使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ		● 1米 × 本 ※危険! ☆ 新曲げ部
 ④中柱 ×2本 ⑤角柱 ×4本 ●~⑤計 20パーツ ※必ず軍手を着用してください! (テント設営・撤収の際、毎年負傷者が出ています) ※作業にあたっては、周りに声掛けをして安全を確認してください (無理だと思ったら応援を呼んでください)。 ・テント本体は予想以上に重量があります。できるだけ男子学生主体で協力しながら行うようお願いします。 ・テントの骨組を持ち上げる・下ろす際は④⑤の柱、計6か所全てに人が2名ずつ配置されていることを確認してから行ってください。また、その際は④・⑤の柱を持ってください。(②桁や③合掌を持つと柱から抜けるおそれがあります) ・柱と桁を繋ぐ外れ止め・各柱の折曲げ部(上図参照)に指をはさまないよう注意してください。 ・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 ガスコンロ ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげて使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ 		❷桁 ×短4本/長3本
● 会社 ×4本 ※必ず軍手を着用してください! (テント設営・撤収の際、毎年負傷者が出ています) ※作業にあたっては、周りに声掛けをして安全を確認してください (無理だと思ったら応援を呼んでください)。 ・テント本体は予想以上に重量があります。できるだけ男子学生主体で協力しながら行うようお願いします。 ・テントの骨組を持ち上げる・下ろす際は④⑤の柱、計6か所全でに人が2名ずつ配置されていることを確認してから行ってください。また、その際は④・⑤の柱を持ってください。(②桁や③合掌を持つと柱から抜けるおそれがあります) ・柱と桁を繋ぐ外れ止め・各柱の折曲げ部(上図参照)に指をはさまないよう注意してください。 ・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげで使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ		❸合掌 ×6 本
 ※必ず軍手を着用してください! (テント設営・撤収の際、毎年負傷者が出ています) ※作業にあたっては、周りに声掛けをして安全を確認してください (無理だと思ったら応援を呼んでください)。 ・テント本体は予想以上に重量があります。できるだけ男子学生主体で協力しながら行うようお願いします。 ・テントの骨組を持ち上げる・下ろす際は④⑤の柱、計6か所全でに人が2名ずつ配置されていることを確認してから行ってください。また、その際は④・⑤の柱を持ってください。(②桁や③合掌を持つと柱から抜けるおそれがあります) ・柱と桁を繋ぐ外れ止め・各柱の折曲げ部(上図参照)に指をはさまないよう注意してください。 ・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 ガスコンロ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげて使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ 		4中柱 ×2本
 ※作業にあたっては、周りに声掛けをして安全を確認してください(無理だと思ったら応援を呼んでください)。 ・テント本体は予想以上に重量があります。できるだけ男子学生主体で協力しながら行うようお願いします。 ・テントの骨組を持ち上げる・下ろす際は④⑤の柱、計6か所全でに人が2名ずつ配置されていることを確認してから行ってください。また、その際は④・⑤の柱を持ってください。(②桁や③合掌を持つと柱から抜けるおそれがあります) ・柱と桁を繋ぐ外れ止め・各柱の折曲げ部(上図参照)に指をはさまないよう注意してください。 ・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 ガスコンロ ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげて使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ 		⑤角柱 ×4 本 ●~⑥ 計 20 パーツ
さい)。 ・テント本体は予想以上に重量があります。できるだけ男子学生主体で協力しながら行うようお願いします。 ・テントの骨組を持ち上げる・下ろす際は④⑤の柱、計6か所全でに人が2名ずつ配置されていることを確認してから行ってください。また、その際は④・⑤の柱を持ってください。(②桁や③合掌を持つと柱から抜けるおそれがあります) ・柱と桁を繋ぐ外れ止め・各柱の折曲げ部(上図参照)に指をはさまないよう注意してください。 ・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげで使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ		※必ず軍手を着用してください!(テント設営・撤収の際、毎年負傷者が出ています)
・テント本体は予想以上に重量があります。できるだけ男子学生主体で協力しながら行うようお願いします。 ・テントの骨組を持ち上げる・下ろす際は④⑤の柱、計6か所全でに人が2名ずつ配置されていることを確認してから行ってください。また、その際は④・⑤の柱を持ってください。(②桁や③合掌を持つと柱から抜けるおそれがあります) ・柱と桁を繋ぐ外れ止め・各柱の折曲げ部(上図参照)に指をはさまないよう注意してください。 ・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげで使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ		
す。 ・テントの骨組を持ち上げる・下ろす際は④⑤の柱、計6か所全てに人が2名ずつ配置されていることを確認してから行ってください。また、その際は④・⑤の柱を持ってください。(②桁や③合掌を持つと柱から抜けるおそれがあります) ・柱と桁を繋ぐ外れ止め・各柱の折曲げ部(上図参照)に指をはさまないよう注意してください。 ・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 ガスコンロ ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげて使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ		
・テントの骨組を持ち上げる・下ろす際は ④⑤の柱、計6か所全でに人が2名ずつ配置されていることを確認してから行ってください。また、その際は④・⑤の柱を持ってください。(②桁や③合掌を持つと柱から抜けるおそれがあります) ・柱と桁を繋ぐ 外れ止め・各柱の折曲げ部(上図参照)に指をはさまないよう注意してください。 ・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげて使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ		
確認してから行ってください。また、その際は④・⑤の柱を持ってください。(②桁や③合掌を持つと柱から抜けるおそれがあります) ・柱と桁を繋ぐ外れ止め・各柱の折曲げ部(上図参照)に指をはさまないよう注意してください。 ・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 ガスコンロ ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげて使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ		
から抜けるおそれがあります) ・柱と桁を繋ぐ外れ止め・各柱の折曲げ部(上図参照)に指をはさまないよう注意してください。 ・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 ガスコンロ ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげて使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ		
 ・柱と桁を繋ぐ外れ止め・各柱の折曲げ部(上図参照)に指をはさまないよう注意してください。 ・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパーツが確認できるようにしっかり管理してください。 ガスコンロ ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげて使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ 		
 ツが確認できるようにしっかり管理してください。 ガスコンロ カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。 必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード 過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげて使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ 		
 ガスコンロ・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。 必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげて使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ 		・隣接するテント同士が近い場合、骨組のパーツが混在するおそれがあります。自分たちのテントのパー
必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。 延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげて使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ		ツが確認できるようにしっかり管理してください。
延長コード ・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげて使用した際、コードが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードはドラムからすべ	ガスコンロ	・カセットコンロを2台連結して使用し、ガスボンベが爆発するという事故が起きています。
ドが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードは <mark>ドラムからすべ</mark>		必ず単体で使用しましょう。また、設置については2名以上で安全確認を行ってください。
	延長コード	・過去にドラム式の延長コードにホットプレート等の電気容量の大きな器具をつなげて使用した際、コー
て引き出して使用するようにしてください。		ドが溶けて火災になりかけたことがありました。コードが熱を持たないよう、コードは <u>ドラムからすべ</u>
		<u>て引き出して</u> 使用するようにしてください。

(3)教室の施錠

・前日の準備完了後、当日の開始時までの間施錠したい教室がある場合は学生サービスセンターに遅くとも開催日前々日まで に申し出てください。

鍵の貸出しは学生サービスセンターで行います。

借りる際は、その都度借りるようにしてください。「学生証」が必要です。

- ・聖灯祭開催中でも、使用場所に人がいなくなる時は、必ず施錠してください。
- ・聖灯祭で<mark>使用しない教室は、すべて前日の 15:00 から施錠します。</mark>
- ・<mark>当日体育館以外の校舎は 18:00 に施錠を行います。後夜祭終了後、校舎には立ち入れませんので、注意してください。</mark> ※後夜祭へは荷物を持って移動するようにし、一般学生にも必ず周知をしてください。

3. 設備、備品の使用について

- ・大学の設備・備品の使用を希望する場合は、「器具使用願(聖灯祭用)」を事前に提出させ、それとは別に、全体の内容を取りまとめた使用器具一覧を聖灯祭実行委員会で作成し、学生サービスセンターに提出してください。 貸出し可能な物品については早期申込みを優先とします。
- ・放送設備の使用…| 号館 | 階総務部に放送設備があります。催し物の都合やホームカミングデーの進行により、|2 時以降放送できません。また、第 | 体育館・学生ホール・|70| に館内放送はしません。放送できる時間・場所が限られますので、使用する場合は予め放送時間を学生サービスセンターに連絡してください。使用の際は、必ず「チャイムボタン」を押してから話してください。
- ・模擬店のつり銭は自分たちで用意してください。学内の両替機は、硬貨が不足になるため使用できません。

※掲示用パネルについて

- ・展示・学内掲示用に、パネル 40~45 枚(畳 | 枚くらいのサイズ)、パネルの足 60 本があります。
- ・貸出し責任者を決め、何番から何番までをどこに貸し出したかチェックした上で(「器具使用願」に番号を記入)受け渡しを してください。
- ・パネル等は旧5号館 | 階5||2(鍵は学生サービスセンターで借りてください)にあります。必ず保管場所で貸出しと返却を 行ってください。

サークル・団体ごとの使用枚数

使う枚数等は、実行委員会が調整して決めてください。 ※パネル2枚を連続して配置すれば足は3本で足ります。 直角に曲げることも可能。

4. 駐車場について

当日

- (I) 学友会・聖灯祭実行委員会、準備の係の学生は、<mark>第2駐車場に駐車</mark>をしてください。なお、自動車通学許可を得ている (シールを貼ってある) 学生のみ利用することができます。
- (2) 第 | 駐車場は卒業生用(ホームカミングデー参加者)となっていますので、本学の学生は第 4・5 駐車場に駐車してください。一般学生にも必ず周知をしてください。乗り合わせをして駐車台数を減らす工夫をお願します。なお、自動車通学許可を得ている(シールを貼ってある)学生のみ利用することができます。
 - ・物品の搬入等で自動車を学内に駐車したい場合は、自動車通学許可をされている自動車(許可シール貼付)で、事前に 『学内への自動車乗り入れ・駐車指定日許可願』を学生サービスセンターに提出し、許可を得てください(用紙は学生 サービスセンターにあります)。
 - ・第1・2・4・5 駐車場ともゲートは、学生は駐車カード、一般来客はボタンでの入場になります。
 - ・学生の誘導係を学生サービスセンターと相談の上配置をお願いします。
 - ・一般来客者の駐車場は学生サービスセンターと事前に打ち合わせた上で、①から⑤の順に誘導してください。
 - ①第1・4駐車場
 - ②第5駐車場
 - ③ (空きがあれば) 第2駐車場
 - ④第3駐車場(13時以降:第1・2・4・5駐車場が満車の場合のみ)
 - ⑤上記すべて満車の場合は、大学院夜間駐車場
 - ・配置されている担当者に、駐車状況等の連絡がすぐ取れるように、担当者の連絡表(名簿のようなもの)を作成して、 学生サービスセンターに提出してください(例:第4駐車場10:00~11:00 担当 学籍番号・氏名)。

5. 片付けについて

使用後はすべて元通りにしてください。

どこで何を片付けているのか把握する必要がありますので、片付け責任者を決めてください。

- ・各場所(例:体育館、パネル、テント等)の片付けが終わったら、片付け責任者に報告をして確認を得てください。
- ・すべての場所(後夜祭会場を除く)の片付け終了後に、実行委員長、教務事務センター及び学生サービスセンター職員で学内 の見回りを行います。
- ※全ての場所が元通り(机・椅子・その他器具のレイアウト)になっているか、清掃もきちんと行われているか確認を行い、 不備がある場所については聖灯祭実行委員会と当該責任者でやり直しをしてもらう場合があります。
- ・模擬店で油を使用した場合、油を固める薬品で固めてからゴミとして出してください。熱いうちに混入し、冷めて固まるまで時間がかかります。あらかじめ薬品を用意するように模擬店出店者に指導をしてください。
- ・キャンパス内の片付けは、聖灯祭当日中に完了してください。折りたたんだダンボールと生ゴミは 4 号館横のゴミ小屋の中に、缶・ビン・ペットボトル等は必ず分別して 4 号館のゴミ小屋前に、その他の燃えるゴミと危険物は、1 号館外ドライエリアにきちんと分けて片付け、カラスや猫避けとしてブルーシート(同窓会館 2 階倉庫にあります)をかけてください。その際、ブルーシートが風などでめくれないようにしてください。
- ・キャンパス内のゴミ等の清掃については、翌日または翌々日に行ってください。
- ・| 号館外ドライエリアのゴミの処理については、清掃業者(リサイクルクリーン)にゴミ回収の予約をし、担当学生は回収に立ち合ってください。

6. パンフレット作成時の注意について

・メールアドレスを掲載する場合、個人のアドレスではなく、学生サービスセンターのアドレス(service@seirei.ac.jp)にしてください。

7. その他

(1)保険の加入

・聖灯祭開催期間中の万一の事故に備えて、保険に加入してください。学生サービスセンターで保険会社を紹介します。

(2)下記の場合は、監督官庁等に連絡をしてください。

- ・学外の道路に看板を設置する場合:警察
- ・模擬店で飲食物を出す場合
- 1) 保健所(検便・手洗い講習等の実施)
- 2) 消防署 (露店等の開設届出書) ※学生サービスセンターに提出してください。

(3)学外の備品等を搬入する場合

- ・必ず事前に学生サービスセンターに申請してください。
- ・聖灯祭実行委員会で、搬入する備品等の一覧を作成してください。その際、備品ごとに搬入時間、搬出時間、業者名(連絡 先)、責任者等を記載してください。
- ・模擬店等で使用する物品(レンタル品等)は旧5号館IF入口に通行の邪魔にならないように置いてください。
- ・模擬店等で調理機器(特にフライヤーやホットプレート等の加熱調理機器)を使用する場合、小型発電機は調理機器以上 の定格出力であることを確認してからレンタルするようにしてください。
 - ※調理機器の消費電力が発電機の定格出力以上の場合、一切使用できません!

(例:消費電力 | 400W のフライヤーを使用する場合→定格出力 | 400W 以上の発電機が必要)

(4)当日の連絡方法

- ・実行委員長と学生サービスセンターとの連絡のため、トランシーバー(チャンネル:Ich)を用意します。
- ・実行委員長は、学生サービスセンターからの伝達事項等を実行委員全体に伝えられるようにしてください。 (2023 年度は実行委員会でトランシーバーIO 台をレンタル)

(5)帰宅時

・女子学生の帰宅が遅くなる場合は、複数で行動するか、男子学生等が自宅まで送るなど、安全に帰宅できるよう十分配慮し てください。

(6)飲酒運転および20歳未満の者の飲酒の禁止・禁煙について

本学は、一般来客であっても全施設禁酒・禁煙です。パンフレットにも必ず記載して徹底してください。

聖灯祭終了後に打ち上げ等を開催しても 20 歳未満の者は飲酒をしてはいけません。飲酒後の自動車等の運転も絶対にしてはいけません。「聖隷クリストファー大学学生懲戒処分規程」により、20 歳未満の者が飲酒又は喫煙をした場合、停学または訓告となります。

「少しぐらい飲んでも大丈夫」、「これぐらいなら問題ない」…。飲酒運転をする人というのは根拠のない自信を持っているものです。飲酒運転は取り返しのつかない重大な結果を招きます。事故を起こしてしまったら、その重大な結果と責任に後で気づいても取り返しがつきません。相手の人生だけでなく、相手の家族の人生、自分の家族の人生にも影響を与えます。飲酒運転は他人を危険にさらすこと、自分自身に一生消すことのできない損害を与える可能性が極めて高いことを忘れてはいけません(飲酒運転中の交通事故では運転手自身のケガや損害について保険は適用されません)。

また、飲酒運転は交通事故を起こさなくても当然厳罰に処せられます。懲役刑又は多額の罰金が科せられ、免許取消、停止等の行政処分が加えられます。そして「欠格事由」として、目指す国家資格を与えられない場合もあります。

「ちょっとだけ…」などと甘えることなく、勧められたお酒を断る勇気、自分自身の我慢や忍耐力を強く持つことが、結果として自分自身を守ってくれるのです。

車両提供や飲酒運転車両への同乗、一緒に飲酒していた者が飲酒運転した場合等についても法律で罰せられます。友達が飲酒運転をしそうになったら責任と勇気を持って止めましょう!

【同時開催】

(1)ホームカミングデー

・ホームカミングデーの来場者からの問い合わせについては、「ウェルカムセンター」(学生ホール)を案内してください。

(2)大学入試相談会、大学院入試説明会

- ・10 時~16 時まで 5 号館で本学のオープンキャンパス・入試相談会を行います。 (キャンパスツアーは 1~3 号館も巡ります)
- ・高校生とその保護者が迷われている場合は、案内等をお願いします。

電気の使用について

電源コンセント位置(簡易版)

